

ラモトリギン錠「日医工」 を服用される方とご家族の方へ

このお薬でとくに注意すべきこと

重篤な皮膚障害について

このお薬を服用中に、重篤な皮膚障害（広範囲にわたり赤くなり、やけどのような水ぶくれ、皮膚のただれなどが全身に広がる）が現われることがあります。皮膚障害の発現に注意し、異常が認められたら、すぐに医師または薬剤師に連絡し、早期に適切な治療を受けてください。

■発疹に加えて、下記のような症状に気づいた場合には、すぐに医師または薬剤師にご相談ください。



次の場合は皮膚障害が現われやすくなったり、発疹が悪化しやすくなります。

- 急にお薬の服用量を増やしたり、適切な量以上に服用した場合
- 小児の方
- バルプロ酸ナトリウムを服用している場合
- 以前にお薬を服用して発疹を経験した方
- このお薬を飲み始めて8週間以内



このお薬は必ず医師の指示通りに服用してください

- 医師からこのお薬の服用を中止するよう指示された場合は、すぐに中止してください。自己判断でお薬の服用を再開しないでください。
- 医師から皮膚科への受診を指示された場合は、直ちに皮膚科を受診してください。
- 自己判断で服用を止めたり、服用量を変えたりしないでください。

服用上の注意

- このお薬は、**少ない量から飲み始めて、時間をかけて、治療に必要な量まで徐々に増やしていきます。**いつ、どれくらいの量を飲めばいいのかは、患者さんごとに異なります。医師に指示された量をまちがわずに服用してください。わからない場合は、必ず医師または薬剤師に聞いてください。
- このお薬は、患者さんの体質や病気の症状、一緒に服用しているお薬によって、効果や副作用の現れ方が違ってきます。そのため、患者さんの安全性を考えて、**ごく少量から始め、効果と副作用の様子をみながら、適切な量を慎重に決めていきます。**
- 治療に必要な量が決まるまでの期間は**数週間から数か月ほど**です。
- **短時間で量を増やすと、重篤な発疹**が出やすいことがわかっています。自己判断で服用量や服用回数を変えたりしないでください。
- 一緒に服用するとお互いに効果や副作用に影響するお薬があります。特にバルプロ酸ナトリウムを服用されている方は、お薬の量を調節する必要があります。必ず医師にお伝えください。
- 他の診療科や病院・医院を受診する場合や、薬局などで他のお薬を購入される場合は、必ずこのお薬を服用していることを医師または薬剤師にお伝えください。

副作用に関する注意

重篤な皮膚障害の他に、次のような副作用があらわれることがあります。このような場合には、直ちに医師または薬剤師に相談してください。

- めまい
- 皮膚や白目が黄色くなる
- 吐き気、嘔吐
- 眠気
- 食欲不振
- 動悸や息切れ
- 手足の関節の痛み
- 鼻血、歯ぐきの出血
- 尿の色が濃くなる

この他にも、この薬を飲んでいる間に何らかの体調の変化に気づいたときには、医師または薬剤師に相談してください。



日医工株式会社